

# 後期高齢者医療制度で 在宅医療に求められるもの

いばらき診療所、照沼秀也

# はじめに

- いばらき診療所のご紹介
- 在宅でお看取りした患者様総数 111名 (2007.1.1 ~ 2007.12.31)

# 社会保障のなかで

- 日本の競争力を損なわない医療費
- ケアレジデンスと在宅医療
- 患者さんから見てわかりやすいこと = 無駄のない医療

(自分で動ける人: 外来診療、じぶんで外来に行けない人: 在宅医療など)

(自分の死ぬ時期がわかったひと、癌など)



日立中央IC 日立駅

いばらき診療所ひたち

常陸太田駅 常陸多賀駅

いばらき診療所とうかい

日立南太田IC 大妻

いばらき診療所みと

上菅谷駅 那珂IC

東海駅

いばらき診療所

水戸IC 内原駅 赤塚駅

勝田駅 阿字ヶ浦駅 ひたちなかIC

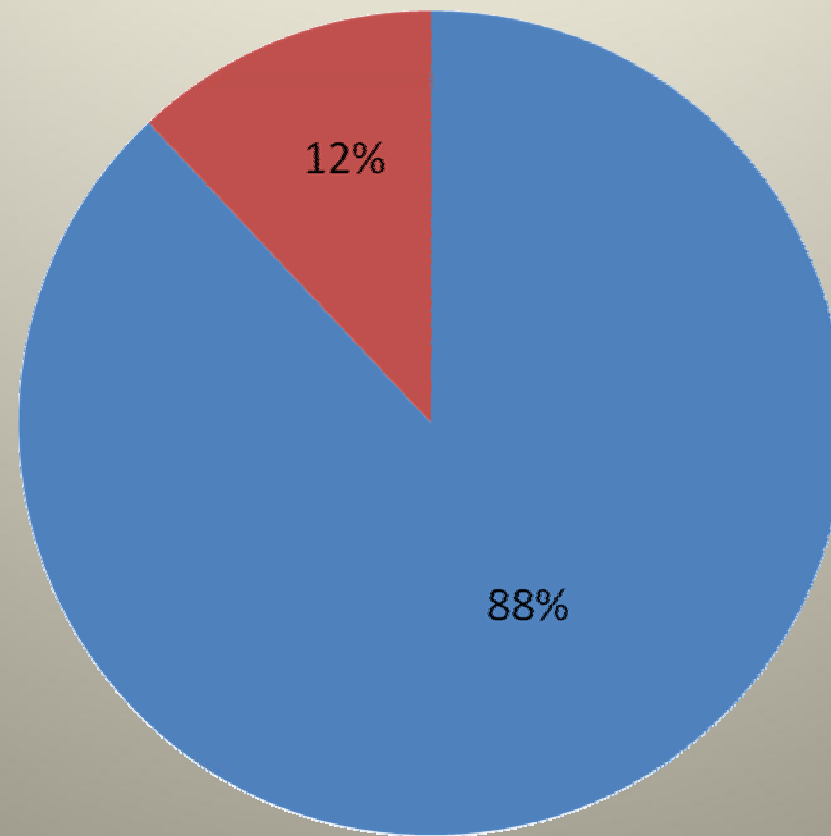
友部駅 友部IC 茨城町西IC 茨城町東IC 岩間IC

水戸駅 水戸大洗IC 大洗駅

いばらき診療所こづる

# いばらき会の在宅患者様における在宅看取り率 (2007年1月～2007年12月)総数111名

■ 在宅死 ■ 施設死・その他



# 在宅医療とは

- 患者さんが生きるをサポートする医療
- 生きるとは自分の大切な物に囲まれている時間、(家族、部屋、動物、犬、猫、植物、庭、本、趣味のグッズー歴史サークル, ふるさと、仕事)人により全く違うが、誰でも必ず自分で大切にしているものがある。
- いばらき診療所の在宅医療 = 生きる

# 高齢者ケアの変化

- 高齢者の自己負担割合の増加ーよりわかりやすい医療、満足度の高い医療が求められる。
- 日本の高齢者に合った医療形態は何か？
- ハイテク医療と在宅医療(硬膜外、くも膜下ポート、CVポート、PCAポンプ)
- 栄養評価の重要性(廃用, じょくそう)
- 日本の文化風土の中の医療

# 在宅医療の変化

- 緊急時の対応、予測可能なケース、予測不可能なケース(救急隊にも協力)
- 個人プレーからチームプレーに  
よりよいチームづくり、ミーティング(携帯端末で) 情報収集(デジカメ)



# いばらき診療所の在宅医療

- 在宅医療 = 生きる